

やればできる



伊万里市立啓成中学校 学校だよりNO.12
令和6年3月22日発行 文責 笹山清彦

校 是：「啓成中学校は、みんなで創る みんなで伸びる みんなで喜ぶ」
学校教育目標：「夢や希望を持ち、自らの未来を切り拓く啓成っ子の育成」

お世話になりました。

本日、令和5年度の修了式を行いました。今年度は、大きな事件・事故等も無く、275名の全校生徒が安全・安心の中、明るく元気に学校生活を過ごすことができました。これもひとえに、保護者や地域の皆様方の本校の教育活動に対するご理解とご協力があったることと、深く感謝申し上げます。今後とも、本校の教育活動に対するご支援・ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、修了式では、最初に各学年の代表者に「学校生活の連絡簿」を授与しました。これは、右の写真のように「修了証書」も兼ねており、ある意味「卒業証書」と同じで、その学年で学ぶべき課程を全て修了したこと、言い換えれば、その学年を卒業したことの証になるものなので、決して雑に扱わず大切に保管して欲しいという話をしました。



修了式後には辞任式を行い、今年度は、9名の職員が退職・転任することになりました。それぞれ本校勤務の期間は違いますが、その間、保護者や地域の皆様方にはたいへんお世話になり、誠にありがとうございました。

最後に、私事になりますが、今年度をもって役職定年（60歳になると管理職を退く制度）を迎え、3月31日に校長職を卒業し、他校へ転任することになりました。校長としては、本校にこの1年間しか勤務できませんでしたが、開校当初から7年間（所属は本校でしたが、最後の2年間は他の教育機関で勤務）を合わせると、通算8年間お世話になりました。

教諭時代には、学級担任やソフトボール部の顧問として、生徒の皆さんといっしょになっていろいろなことに取り組むことで、私自身も成長させてもらいました。また、今年度は校長として、毎朝交通指導を兼ねて、生徒や保護者、地域の皆様方にあいさつをするのが楽しみでした。遠くの方から元気の良い大きい声であいさつをする生徒や、ちょっと恥ずかし気にちょこんと頭を下げる生徒など、あいさつ一つ取っても、一人一人に本当に個性があるものだと思っていました。

生徒の皆さんにとっては、これから先もまだまだ自分探しの長い旅が続きます。皆さんには無限の可能性が 있습니다。自分を信じ、「やればできる」の精神で何事にも積極的にチャレンジして欲しいと思います。必ず道は開けます。

最後になりますが、本校で勤務した8年間、生徒や保護者、地域の皆様方、職員など、多くの皆様方と出会い、数えきれないぐらいの喜びや感動をいただきましたことに深く感謝申し上げます。また、多大なご支援・ご協力を賜りましたことを重ねてお礼申し上げます。本当にお世話になりました。ありがとうございました。

「人の世に失敗ちゆうことはありゃせんぞ。」

坂本 龍馬